

獣医師をめざした畜産実習

畜産技術部(畜産試験場)

平成21年6月24日

6月23日、畜産技術部に山口大学獣医学科2年生35名が訪れ、大学では決して学ぶ事のできない、肉用種雄牛の採精、黒毛和種のほか、本県特産の無角和種、見島牛種雄牛、養豚に係る実習を行いました。

初めて見る種雄牛の迫力ある大きさに驚嘆の声が聞かれるとともに個々の種雄牛の産肉能力と農家経営に与える影響などに盛んな質問があり、研究員からの1つ1つの答えに学生達も納得した様でした。

養豚についても、現在行っている繁殖母豚へのエコフィード給与や飼料用米給与試験が今後の野外での養豚や稲作農家経営に及ぼす影響に興味を示す一方、ランドレース等の種雄豚に「でかい!」「本の写真と違う!」など、学内で学ぶ事のできない実習に興奮気味でした。

山口県を含めて全国の自治体では、獣医師不足が深刻化しています。畜産技術部では、今後も、山口大学と緊密な連携を取りながら、獣医師確保に向けて、特に畜産に深い興味を示す学生の育成に努めて参ります。



研究員からの説明に集中



固唾を飲んでの採精実習